	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	9,598,949,085	当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用：9,598,949,085円 （人件費：7,504,456,653円、業務委託費：675,159,697円、賃借料：193,236,474円、水道光熱費：283,476,905円、消耗備品費：427,646,178円、その他の経費：514,973,178円） イ）固定資産の取得額：224,213,514円（建設仮勘定：13,863,320円を含む）
	資産見返運営費交付金	210,350,194	
	建設仮勘定見返運営費交付金	13,863,320	
	資本剰余金	—	
	計	9,823,162,599	
会計基準第81第３項による振替額		—	
合　　計		9,823,162,599	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

研究・育種勘定

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成18年度	業務達成基準を採用した業務に係る分		—（業務達成基準を採用した業務はありません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分		—（期間進行基準を採用した業務はありません）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	370,201	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高は、収益化の予定がないものであります。
	計	370,201	
平成19年度	業務達成基準を採用した業務に係る分		—（業務達成基準を採用した業務はありません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分		—（期間進行基準を採用した業務はありません）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	29,616,671	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高は、収益化の予定がないものであります。
	計	29,616,671	
平成20年度	業務達成基準を採用した業務に係る分		—（業務達成基準を採用した業務はありません）
	期間進行基準を採用した業務に係る分		—（期間進行基準を採用した業務はありません）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	192,972,715	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高の内訳 事業費：27,466,522円、人件費：165,506,193円 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高は、事業費残については、収益化の予定はなく、人件費残については翌事業年度において収益化する予定であります。
	計	192,972,715	